

音訳ボランティア
体験教室受講生募集

視覚に障がいがある方の生活をさらに豊かにする音訳（文字情報を音声化する）ボランティアの体験教室を開催します。

対象者 音訳に興味がある方や視覚に障がいがある方の家族・支援をする方

開催日（全4回・各回月曜日）

① 8月20日 ② 8月27日

③ 9月3日 ④ 9月10日

時間 いずれも午後7時から午後8時30分まで。

会場 二本松福祉センター



◀ 広報にほんまつ
の音訳を
している様子

参加費 無料

定員 10人

申込期限 8月10日（金）

※定員になり次第締め切り。

◎問い合わせ・申し込み：

福祉課障がい福祉係

☎（55）5113

視覚障がい者の教育相談

福島県立視覚支援学校では、疾病などによる視機能低下

（著しい視力低下や視野狭窄、視野欠損等）により、進学や就労でお困りの方のための教育相談を行っています。お気軽にお問い合わせください。

開催日時 毎週月・水・金曜日の午前9時から午後4時まで。

対象者 お困りの方ならどなたでも。

◎問い合わせ：

福島県立視覚支援学校

☎024（534）2574

視覚障がい者相談会

福島県障がい者総合福祉センター主催による相談会が開催されます。

日時 9月4日（火）

午前10時～午後1時

※受け付けは午前10時から正

午まで。

会場

郡山市障害者福祉センター

内容

・医療相談、福祉相談、福祉用具の展示。

・視覚に障がいのある方、見えにくいことで日常生活に不自由を感じている方、またはその家族の方を対象にした相談。

※身体障害者手帳をお持ちの方は持参してください。

相談料 無料

申込期限 8月28日（火）

申し込み方法 事前に電話等でお申し込みください。

肢体不自由者来所相談会

補装具の購入・修理、医療、その他更生に関する無料相談会が開催されます。

日時 8月24日（金）

午後1時～3時

会場 福島県障がい者総合福祉センター（県庁北庁舎）

申込期限 8月17日（金）

申し込み方法 事前に電話等でお申し込みください。

※身体障害者手帳をお持ちの方は持参してください。

◎問い合わせ・申し込み：

福祉課障がい福祉係

☎（55）5113

または各支所地域振興課



元氣塾いむしろ

健康の維持増進・介護予防・認知症予防を目的とし、楽しく体や頭を使う教室です。

ますます元気に長生きできるヒントがたくさんあります。

開催日（各回水曜日）

① 新殿住民センターコース

8月22日、

9月5日、26日、

10月10日、31日

② 旭住民センターコース

8月29日、

9月19日、

10月3日、17日

11月7日

※①②とも同じ内容です。

時間 いずれも午前9時30分から午前11時30分まで。

※9月19日のみ午後2時から午後4時まで。

対象者

市内在住の65歳以上の方

参加費 各回一人200円

持参物

汗拭きタオル・運動靴

※水分補給のための飲み物は教室で準備します。

申込期限 8月20日（月）

その他

この事業は、いわしろふれあいスポーツクラブと岩代地域包括支援センターとの連携事業で、（公財）福島県体育協会ふくしま広域スポーツセンター各種団体連携事業により実施するものです。

◎問い合わせ・申し込み：

・岩代地域包括支援センター

☎（24）5272

・いわしろふれあいスポーツクラブ ☎（55）2260

・高齢福祉課包括ケア推進係

☎（23）3600



介護予防教室 足腰しゃんしゃん教室 (岩代コース)

腰痛、膝痛の改善や足、腰の筋力アップに効果がある運動教室を開催します。

この教室では、主にイスに座った運動を中心に行いますので、腰痛、膝痛があったり、少し体力に不安のある方でも安心してご参加ください。

対象者 65歳以上の方

会場 岩代福祉センター
開催日 9月6日から11月22日までの毎週木曜日(12回コース)

時間 午後1時15分～3時15分

定員 20人(先着順)

受講料 無料

送迎 岩代地域の方で希望する方は無料で送迎します。
申込期限 8月15日(水)



その他

本教室は各地域で開催しますので、参加は年度内1人1

コースとなります。(広報4月号に今年度の開催予定が掲載されています。)

◎問い合わせ・申し込み：

高齢福祉課包括ケア推進係

☎(23)3600

環境衛生

environment hygiene

スプレー缶とライターのごみ出しに注意しましょう

スプレー缶(カセットボンベ、ヘアスプレー、殺虫スプレーなど)やライターを捨てる際は、事故防止のため、次の点に注意してごみステーションに出してください。

スプレー缶の捨て方

手順1

缶の中身を完全に使い切る

缶を振って音がしたら、まだガスが残っている証拠です。スプレー缶は最後まで使い切りましょう。残ったガスを出し切るための残ガス排出機構がついている場合があります。スプレー缶に中身の出し方が書いてある場合は、その通りにしてください。

手順2 缶に穴を開ける

必ず中身を使い切り、屋外で穴を開けてからピンク色の指定袋(破碎するごみの袋)でごみステーションに出してください。中身が残ったままの状態です。中身が開けたり、火の気があるとところや風通しの悪い屋内で穴を開けることは、非常に危険です。

穴を開ける専用の道具はスパーやホームセンター等で購入できます。



▲専用の道具で穴を開けている様子

ライターの捨て方

ライターはガスを使いきってから、ピンク色の指定袋(破碎するごみの袋)でごみステーションに出してください。

犬の飼い主の皆さまへ

犬の放し飼いと、ふんの後始末に対する苦情が多くなっています。犬の散歩の際にはビニール袋を持参するなどし、ふんは飼い主が責任をもって持ち帰りましょう。

また放し飼いにし、飼い犬が子どもや他の犬をかんだり、庭や畑などを荒らしたりすることがありますので、散歩中も含め犬は必ずつないで飼いましょう。

簡単なふんの後始末方法



ハチにご注意ください

夏から秋にかけて、ハチが活発に活動するため、野山などでハチに刺されるケースも増えますが、ハチはむやみに人を刺すわけではありません。次の点に注意しましょう。

- ・ハチが近寄ってきたり、慌てて手で払ったり駆け出したりしない。
- ・ハチの巣に気づいたら、ゆっくりその場を離れる。
- ・黒い服を避ける(ハチは黒色に反応します)。野山に出かける際は、白い服がオススメです。

防護服の貸し出し

ご自身でハチの巣を駆除する方に、市ではハチ駆除防護服の貸し出しをしています。詳しくは左記までお問い合わせください。



◎問い合わせ：

生活環境課環境衛生係

☎(55)5103

または各支所地域振興課